



## 4-I、II教室のリプレイス

—仕様作成から完成まで—

視聴覚教育委員会委員長 橋本 勝  
視聴覚資料係

昭和54年に導入された4-I、II LL教室が、本年3月にリプレイスされました。

ニューメディアの発達に伴い、LLの授業形態もカセット資料でのパターンプラクティスだけでなく、ビデオテープやレーザーディスクの動画資料、パソコンでのプレゼンテーションが頻繁に導入されるようになりました。

また、LLのマスターコンソール（以下コンソール）も昭和54年当時は、アナログで動作するボード方式で、周辺機も含め大きなものでしたが、現在では、マイコンを備えたブラウン管方式で非常にコンパクトになり、バイリンガルレッスン、高速ダビングが可能になるなど、多機能かつ機器のレスポンスも非常に早く作動するようになりました。

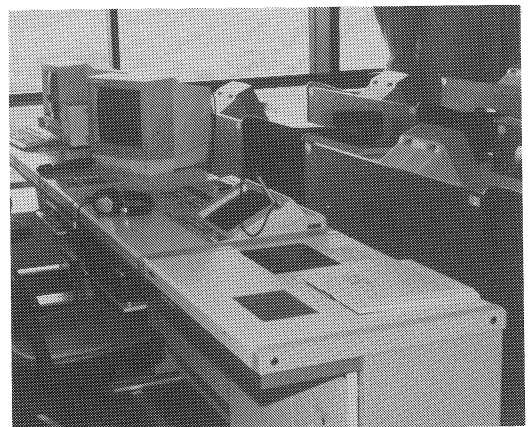
リプレイスに伴い第一段階として、教室使用教員へのアンケート（授業形態、希望機器、レイアウト等）から始められ、次のような経過で仕様検討案が作成、承認の手続きがとられました。

- 90. 12. 20 アンケート回収終了、集計
- 90. 2. 18~22 各メーカーによるコンソールの展示、説明会
- 5. 28 視聴覚教育小委員会  
(以下小委員会)
  - ・参考資料としての仕様検討案の作成
- 6. 6 視聴覚教育大委員会  
(以下大委員会)
  - ・小委員会で作成された仕様検討案の報告
  - ・以後小委員会にて仕様の詳細案を検討、作成することに決定する
- 6. 13 小委員会
  - ・コンソールの形態、機能、操作性について
  - ・教材送出力機器について

- 6. 20 小委員会
  - ・コンソール、機器の配置について
  - ・ブースの形状、数、モニターテレビについて
- 6. 27 小委員会
  - ・ブーステレビの形状、台数について
  - ・AVスイッチャーについて
- 7. 4 小委員会
  - ・最終の仕様検討案を作成する大委員会
  - ・小委員会で作成された仕様検討案を報告、承認される

酷暑の中、5回の長時間にわたる小委員会が開かれ、コンソールの形態はボード式かブラウン管方式かの検討から始まり、多数の意見が交換され、最終的には、LL練習だけでなく、現状に即した多目的な教室であり、機器セレクト、リモコン操作がシンプルであることが重要点とされました。

両教室とも非常に利用率の高い教室で、それだけに利用される先生方も多く、ほとんどの先生方が古いコンソールに熟練されておられたので、アナログからデジタル化されるということで（機器を使いこ



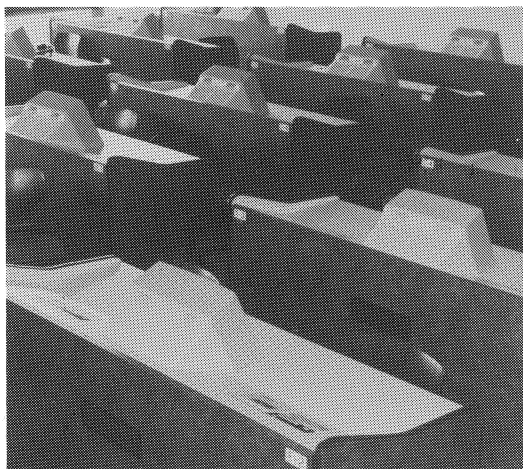
なすことができるか) 不安だという意見がでしたが、半年を経過した現在、予想以上にトラブルもなく、先生方も早い段階でコンソール、セレクター等に慣れられたようで、「リプレイスしてよかった」という意見を多く耳にしました。

アナログ方式からデジタル方式へと移行した新教室、多少の戸惑いもあり、時間もかかると思います

《4-I 教室は、46ブースで教材提示用パソコンとして PC-9800 DA を 4-II 教室は、32ブースで Macintosh パソコンを備えています。その他の機器は別表の通り同一仕様になっています。(尚、分配器、椅子・デスク等の仕様は、省きました)》

### 〈特徴〉

- ◎教室に入り、コンソールの電源を投入すれば、他の操作なしにヒアリングレッスンをすることができます。
- ◎マトリックススイッチャー (リモコン付) により、各機器、スピーカーの選択、リモコン操作が簡単にできる。
- ◎教材提示装置が高品位になり、教材がブースに鮮明に提示できるようになりました。
- ◎スピーカーの選択により、CD、DAT 等の音声は、前面のスピーカーで迫力のある音で聞くことができます。
- ◎パソコンからの教材送出ができます。但し、4-I 教室は PC-9800 DA、4-II 教室は Macintosh パソコンです。



が、機器に使われるのではなく、使いこなせば、今まで以上の効果的な視聴覚教育ができると確信いたします。

最後に、今回の予算が政府調達ということで、会計課、図書館専門員、総務係長、関係各位の方々に大変なご苦労をおかけし、無事完成したことに、お礼を申し上げたいと思います。

### 〈機器一覧〉

〈品名〉	〈型番〉
(マスター部)	
マスターコンソール	WE-7900 (特)
ヘッドセット (教師用)	WE-5950
モニターテレビ (教師用)	TM-143 FHN
ワイヤレスチューナー	WX-3020, WX-D 800
ワイヤレスマイク (卓上、ピン型)	WX-3200, WX-3300
マトリックススイッチャー	特型
(教材送出・提示部)	
マスターテープレコーダー	WE-6310
方式変換ビデオ	AG-W 1
VHS ビデオ	AG-3545
マルチディスクプレーヤー	VD-1200
ビデオキャプション	FA-700
BS チューナー	TU-BS 206
DAT デッキ	SV-DA 10
教材提示装置	WE-9080 C, 他
スライドフィルム TV コンバーター	TRV-35 G
オーバーヘッドプロジェクター	HP-A 305
スクリーン	OER-15
パーソナルコンピューター	PC-9801 DA
大型モニターテレビ (学生用)	TH-33 VS 20
天井スピーカー	WS-A 10 K
前面スピーカー	301-MK II
(ブース部)	
ブーステープレコーダー	WE-6610
ヘッドセット	WE-5950
ブーステレビ	TM-143 FHN

# イギリスの年末行事

英語学科 上野義和

## 〈はじめに〉

日本語で国名として用いる「イギリス」は、英語では the United Kingdom (公式名 the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland)、略して UK といい、従って「イギリス連合王国」という一般の日本人には馴染みのない、いかめしい名が正式な訳になる。Great Britain (大ブリテン島、略して GB) は三つの地域 (イングランド、ウェールズ、スコットランド) に分かれ、これら三地域に Northern Ireland (北アイルランド) を加えた計四地域がイギリスの国土を構成していることになる。それ故、イングランド イコール イギリスとするのは厳密には誤りである。が、現実には、日本からイングランドに郵便を出す場合に England, UK と書かなくても England だけで無事届くのであるから、イングランドの意味でイギリスと言うのは俗称として通用するということになる。

筆者はイングランド以外には長期滞在したことがないので他の三地域の風習や習慣を直接体験したわけではないし、また、いちいちイングランドと書くのは何か冗慢に思えるので、以下俗称の「イギリス」を使うことにする。

## 〈クリスマス〉

ノエル (Noël、仏)、ナターレ (Natale、伊)、ワイナハト (Weihnacht、独) 等に相当する Christmas は Christ (キリスト) と mass (ミサ) との複合語で、Christmas Day (クリスマスの日) はイエスキリストの誕生を記念する日で、ふつうは12月25日がそれにあたる。「ふつう」というのは、そうでない場合もあるということで、意外に知られていないが教区によっては1月6日を Christmas Day と定めているところもある。これはもともと太陽の新生を祝うローマ人の「冬至祭」であった12月25日を四世紀にローマ教会が「降誕日」に転化させ、それを「顕現祭 (1月6日)」に降誕を祝って

いた東方教会に伝えたことに由来している。

イギリス人にとって12月25日は、ある意味では一年を通して最も重要な日であり、従って当然祝日となる。24日から約二週間仕事はお休み (Christmas holiday と呼ぶ) になるのが一般的だが、スーパーマーケットなどは25日のみ、か24、25の両日だけ閉店するだけである。

さて、10日を過ぎると各家庭でクリスマスツリーの飾りつけが始まる。使われる木は本物の木であるが、日本人がすぐに思いうかべるモミの木 (fir tree) とは限らず、球果 (cone) をつける針葉樹なら何でもよい。エゾ松、杉、モミなどの、この種の針葉樹を総称して「コニファー (conifer)」と呼ばれ、'SALE! CONIFER' の広告が植木店の店先に見られるのがこの時期である。つまり、イギリス人は毎年クリスマスツリーのための木を購入するわけだけれど、中にはその代金を節約しようとする不心得者が出現する。イギリス人の家には前庭と裏庭の両方があり、裏庭にはレンガや木板の塀がめぐらせてあるが、前庭には門扉がなく出入り自由な場合が多いため、そこに植えられている conifer が盗まれることがある。筆者の家のお向いさんもその被害に会い、そのために「物体が近づくと点灯するサーチライトのような防犯灯 (magic light)」をとりつけてそれ以上の被害を防ごうとしていた。筆者の家の conifer が一本も盗まれることがなかったのは、ただクリスマスツリーには大きすぎただけのこと。ほどほどの大きさの conifer をもつ家は「ご用心！」というわけだ。

クリスマスツリーにはローソク、豆電球、色紙等を飾りつける。これを道路に面した室内の窓の近くに置き、夜間通り行く人々がその美しさを楽しめるようにしている。この時期が終ると、その窓にはカーテンがひかれ二度と室内が見えることはない。それにしてもイギリス人は何故擦りガラスを使わないのだろうか？採光を目的とした透明ガラスに四六時中カーテンをひいているのは何のためだろうか？まさかクリスマスツリーを見せるためだけのものではある

まい。‘An Englishman’s house is his castle.’ という諺が今日も生きているのだろうか。とまれ、この時期のイギリスは午後三時頃が日没であるから夜がやたらと長いので、各家庭のクリスマスツリーを見て回るのは結構退屈しのぎになる。日本の家庭とちがってイギリスでは夜になっても照明度の低い電球しか使わないので、点滅する色とりどりの豆電球が飾りつけられたクリスマスツリーが暗い室内で本当に美しく見えるのである。

Christmas という語の省略形について一言。日本ではよく ‘X’mas’ を見かけるが、これは誤りで ‘Xmas’ が正しい。

なお、‘X’ はキリストのギリシャ語名クリストスの頭文字をとったもの。

### 〈クリスマスカード〉

日本の年賀状 (New Year’s greetings card) と同様、イギリスでもクリスマスカードは12月10日頃までに郵便局に持ち込まないとクリスマス当日に配達されない。カードは、年賀状と同様注文印刷が盛んで、日本の写真ハガキと同じような写真カードも普及している。

### 〈白ひげのおじいさん〉

イギリスの子供達の多くは、赤い服を着た長い白ひげのおじいさんの存在を心から信じているようで25日が来るのを心待ちする。もちろんプレゼントを持って煙突から入ってきてくれるからであるが、日本の子供よりもおじいさんそのものにはるかに強い愛着をいだいているように思える。イギリスでは古い家はもちろん、新築のモダンな家にも必ず煙突がついている (前者の場合は薪や石炭で暖をとることができる本物だが、後者の場合見せかけだけのものが多い)。それにしても科学万能の時代で、何と夢のある子供達であろうか。

ところで ‘Santa Claus’ という表現はイギリス英語ではなくアメリカ英語であることはあまり知られていないようだ。Santa Claus の名によって贈り物をする習慣は意外に歴史が浅く、約300年前にアメリカ大陸に移住したオランダ人プロテスタントの間から広まったことがその起源とされる。従って

‘Santa Claus’ はオランダ語 ‘Sant Klaus (Saint Nicholas の意味)’ に由来する。交通機関の発達、マスメディアの普及が原因で、近年アメリカ英語のイギリス英語への流入が著しく、この ‘Santa Claus’ もその一例ではあるが地方に行けばこの表現を知らない子供もいるし、大人でも知っていても表現を使うことはまずない。イギリスでは、大人も子供も白ひげのおじいさんを ‘Father Christmas’ と愛情をこめて呼んでいるのである。

### 〈不思議な習慣〉

クリスマスが近づくと、三年前のイギリス滞在中に経験した不思議な習慣を思い出す。クリスマスの日、私は、そこでボランティアとして毎日曜日ミサのオルガンを弾いているイギリス人の友人に連れられて「教区の教会 (local parish church)」に出かけた。ミサなどの行事が一段落した後のお茶の時間の時、彼は聖歌隊の一人の少年を指さしながら私の耳もとで囁やいた——“Keep watching him and you’ll see something interesting.” 少年は同じ聖歌隊の少女の一人に近づいていき、その前に立つと背後に両手で隠し持っていた小さな細い木の枝のようなものをさっと彼女の頭上にかざすと同時にす早く彼女の頬にキスをした。その行為が何を意味するのか筆者にはさっぱりわからなかったが、友人の説明によると、小さな実と淡緑色の葉をもつ常緑植物 (クリスマスに室内に飾りつけられることもある) を好きな異性の頭上にかざすとキスをしてよいという習慣が古くからイギリスにあるとのこと。その植物の名を「ミスルトゥ (mistletoe やどり木)」という。

### 〈大晦日〉

日本には大晦日に各地の寺で除夜の鐘を打つ習慣があり、打つ回数は108と決められている。仏教という108の煩悩を打ち払い新たな気持ちで新年を迎えるためである。こう言うと、除夜の鐘は仏教国のみ固有の習慣と思われるだろうが、事實は違う。イギリスにもよく似た習慣があることは、‘to toll bells on New Year’s Eve (除夜に鐘を打つ)’ という表現が昔からあることからわかるだろう。た

だ一つ異なる点は、イギリスでは鐘を打つ回数に制限がないことである。12月31日夜12時に近づくとイギリス中の教会が鐘を打ち始める。それに呼応してクラッカーを鳴らしたり花火をうち上げる人々もいるので、大晦日はイギリス式の方が騒々しい分、厳しめくさがない反面、ずっと楽しい。この夜はロンドン市内はごった返す。ウエストミンスター寺院の除夜の鐘を聞くために全国から人が集まってくるからである。

ところで、イギリスに次のような表現があるのをご存知だろうか。

'to ring out the Old Year and ring in the New Year'

(鐘を打って行く年を送り来る年を迎える)

イギリス人も日本人も発想が全く同じであることには驚かされる。

## 〈おわりに〉

二週間の Christmas holiday が終ると大バーゲンセールが各地で催されるのが恒例となっている。この店先にも '50% OFF ALL COATS'、'80% OFF ALL SKIRTS' などの広告ビラが見られる。同じ商品がこのような大幅割引になるのだから、欲しいものがあってもクリスマス前には我慢して買わないこと。ところで、イギリスには次のような面白い値札 (price tag) の割引表示がある。

WAS	£40
IS	£8

旧価格40ポンド、新価格8ポンドの意味であるが、全商品の元の値札ととり替えるために新たに作るわけだから、ずい分手間と時間がかかることだろう。一見、気が利いているように見えて、実は間が抜けた表示ではある。(1992, 11, 18)

## 私説 《視覚映像文化論》

その8：秀逸なる芸術性溢れる空想的科学主義映画『ターミネーター2』(1991)

ポルトガル・ブラジル語学科 林 田 雅 至

未来の戦士ジョン・コナー少年の生命を死守するためにタイム・トリップによって派遣されたターミネーター(殺人鬼)が心の痛みに起因する涙の意味を理解し、健気なジョンの、ありったけの涙を流しての取り乱した説得にもかかわらず、世界を壊滅に導く核戦争阻止のために溶鉱炉に身を投じて自らが持つ汎用軍事情報を灰燼に帰してしまうというラスト・シーンが存在しなかったら、あるいはジョンの母親であるサラがジョンとともに無邪気に公園で遊ぶ姿が、核爆発によって疾風怒濤のごとく、地面をなめるように迫り来る大熱波のために瞬時に皮膚が爛れ、骸骨化していく身の毛もよだつ彼女の悪夢の場面と、メイン・タイトルの背景の映像に一つの現実として現われた核戦争直後の児童公園の惨憺たる瓦礫の残骸を焼き尽くす燃え盛る劫火に、僅かに見え隠れするブランコや、子供が好んで跨がる

様々な動物の形をした大型乗り物や、回転大輪の場面がなかったら、この映画は物理的なスピードが売物だった一連の冒険活劇《スター・ウォーズ》ものに代表される単純明快で楽観的な空想科学映画に終わっていただろう。

特に公園で劫火に焼かれる様々な子供の遊び道具の連続スローモーション・シーンは、訴えかけるそのメッセージとは裏腹に、映像美学的にはえも言われぬほど美しく、実は子供の掛け替えのない生命を象徴する映像として扱われている。こうしたロボットが人間化するという内容面での優れた抒情性と、核爆発後の児童公園シーンを巧みにあつかった、形式面での象徴性が表裏一体をなして、主人公ジョンのサバイバルをめぐるロボットの間で繰り広げられる壮絶なる格闘の連続と、1997年に勃発する核戦争を未然に防止するために両者間に展開する正に血生

臭い報復劇が観客に緊迫感を抱かせながら、物理的なスピードもさることながら、心理的なスピード感ともなって一気に人類救済的な結末へと収斂していくのである。

ただここで考えてみたいのはジョン殺害のために派遣された液体金属製のT-1000のことである。触るものに感応して自在に変容できる万能超ロボット。僕はすぐにタルコフスキーの名作『惑星ソラリス』(1972)に登場するニュートリノ系の物体=人間の潜在意識を実体化した《客》を連想したのである。ソラリスへ謎の解明のために調査に向かった心理学者クリスは10年前に自殺した妻ハリーを愛しく想う気持ちを断ち切れずにいるが、そうした潜在的な意識を察知したソラリスの《海》は実体化した虚構のハリーをクリスに送るのである。虚構の実体とはいえ、クリスにとっては愛の想像的結晶であるハリーはクリスから愛情を吹き込まれ、限りなく生前の本物に近づこうとするのである。やがて自分の存在に疑念を抱くほどに繊細な感情が内的に成熟するのであるが、そこには形而上学的な思索・哲学的な苦悩の世界が広がっていると言っても過言ではないだろう。排他的にジョンを殺すことのみがプログラムされた非情なるロボットとは全く対照的である。こうした要素の欠如が『ターミネーター2』に瞑想的な気分を感じさせない要因となっている。一方『惑星ソラリス』のそうした哲学的な側面と映画的に共鳴するように現われる、重苦しいほどに静かで、ゆるやかな暗い地球の自然描写の場面と、クリスが当初恐怖感を覚えた《客》であるハリーをロケットで飛ばしてしまう、青白い光に照らし出された透明感溢れるシーンは観客に強烈な印象を与えるはずである。この意図的な超スローモーション映像演出はどのように解釈したらよいのであろうか。僕はそこに一種の安定性を読み取って、その根底には戦後冷戦構造の下、世界初の人工衛星打ち上げ成功と人類初の月面着陸成功に凝縮される、世界人類の明るい未来を約束する科学万能主義に対する全的な信頼感が横たわっていると考える。だから『惑星ソラリス』は現実的的科学万能主義映画と命名できると想うのである。

そうすると読者から『ターミネーター2』の方はどう考えたらいいだろうと質問されるかもしれない。僕はタイトルに空想的科学主義映画と書いた。90年代前後から科学万能主義は瞬く間にその威信を失墜

し、日本では小学生以下の子供の間で《科学》に対する懐疑心を象徴し、世紀末的で神秘主義的な香りの漂うグロテスクなマスクット=二等身ロボットが超人気を得ているのである。そういう意味で『ターミネーター2』は現実的的反・科学万能主義の映画と言える。そしてまた人類救済的な愛がテーマとなっていることから、善的な科学主義思想が空想の世界で終始貫徹されていると言えるのであるが、それはとりもなおさず、この映画をSF=空想科学映画たらしめる所以となっている。ところで、深海を舞台にした同監督作品『アビス』(1989)は結末に神秘主義的な香いが溢れているために、興行的にも不入りだったのは非常に頷けるのであって、謂わば現実的に神秘主義的な解決を計ろうとしたためであり、現実的な難局の打開として善的な科学主義が実際に適応されるような筋の運びになっていれば、観客にとっても満足のいく作品となっていたかもしれない。しかし、そのことは何も監督の力量不足であるとか言うことではなくて、大局的に見れば、世界が例えば冷戦後の核問題にせよ、地球環境破壊の問題にせよ、科学万能主義による現実世界の破綻状況を眼前にして、科学的な方法論を模索し、相応しい解答を出すにはまだ至っていないという社会的現況を反映したものであると言えるだろう。勢い全般的な気分としては脱・科学万能主義としての神秘主義思潮が一木一草に至るまで浸透しているのである。またこういう事情が現実的に反・科学万能主義という批判的な精神を内包した空想的に善的科学主義映画である『ターミネーター2』を必然的に成立させている社会的背景なのである。

因みに1966年日本のテレビで初放映された時、『宇宙大作戦』と呼ばれていた『スター・トレック』シリーズはご存じ未曽有の人気を博したバルカン星人・ミスタースポック副艦長に象徴されるように、高度に論理的で楽観的な科学万能主義が空想的に巧みに盛り込まれていたのである。他方同シリーズの1988年新シリーズは宇宙空間的巫女トロイをフィーチャーした、内容的に極めて神秘主義感覚の色濃い空想物語に仕上がっている。

最後に空想の世界という形式的な設定を仮の住居としながらも、内容的にはギリシャ悲劇オイディプス王の筋立てを容易に連想させる現実的に冷徹な科学主義精神が支配的となっている、1954年アスタウ

ンディング SF誌 8月号に発表された古典的傑作トム・ゴドウィン作『冷たい方程式』のことを記しておこう。僕はこの作品を空想科学映画にすることは

不可能であると想っているのである。(1992. 10. 22 京都由岐神社鞍馬・火祭の日に記す)



①は1997年核戦争前の児童公園の場面。②は2029年、核戦争による全面的な破壊がもたらした同児童公園に散乱する頭骸骨や子供の遊び道具などの場面。③～⑤は核戦争で燃え上がる公園の連続場面。⑥・⑦は1997年主人公サラがジョンとともに無邪気に遊ぶ児童公園を一瞬のうちに襲った核爆発の場面（サラの悪夢）。⑧傷心による涙の意味を理解できないターミネーター。⑨実際に泣くことはできないが、泣く気持ちを理解したターミネーター。



## <LL 便り 1>

# 画像変換システムの紹介

視聴覚資料係

平成3年度の一般設備費による「画像変換システム」が完成しました。

このシステムは、

①映像資料（VHS、LD、8mmVCR）をビデオボードを介して、また静止画情報をカラーイメージスキャナを介してパソコンにキャプチャリングし、グラフィックスソフト等で加工、編集しMOディスク等に保存する。

②パソコン本体で作成したデータ、①で保存したデータをダウンコンバーターを介してアナログRGB信号をNTSCコンポジット信号に変換し、ビデオ

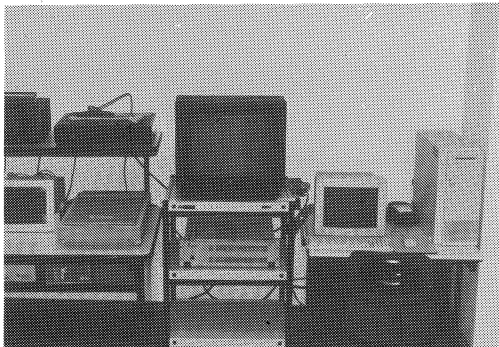
テープに記録するものです。

このシステムの導入により、パソコン、ワープロ等で作成された教材にコンピューターグラフィックスで作成された挿画、写真等をミックスし、ビデオ映像、音声をリンクさせれば容易にビデオ教材が作成することができます。

また、ダウンコンバーターを使うことによって、パソコン、ワープロ等のデータをビデオ化することによって一般教室で簡易にプレゼンテーションすることが可能になりました。

(画像変換システム機器、ソフト一覧)

<HARD>		<SOFT>
Computer	Quadra 900	Macro Mind Director 3.0 日本語版
MO Disk	Reo Drive 3.5	Macro Mind Media Maker 1.1 日本語版
Color Scana	Scan Jet II c	Phot Shop 1.1 日本語版
Video Board	Raster Ops 24 XLTV	Vbox Control XCMD
V/C Interface	Vbox	Hyper Card 2.0
Scan Converter	CVS-980	
8 mm VCR	CCD-V 800	
LD Player	LD-V 540	
VIDEO Recoder	SLV-R 5	
Moniter TV	GVM-2100/W	
AV Selecter	VCS-63 A	



〈テープ・ライブラリー冬休みの開館予定〉

12月18日まで	平常通り
12月21日～25日	9:30～16:30 (23日は休館)
12月26日～1月5日	休館
1月6日～8日	9:30～16:30
1月11日から	平常通り

<LL 便り 2 >

新規購入映像資料 (レーザー・ディスク) 所蔵一覧

その10

(1992年11月現在)

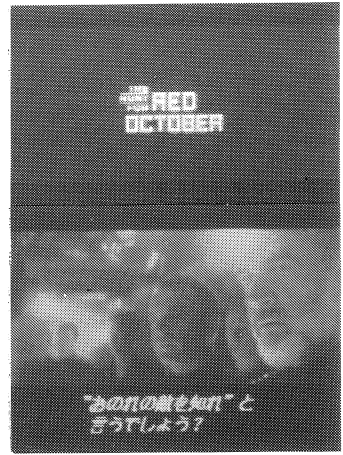
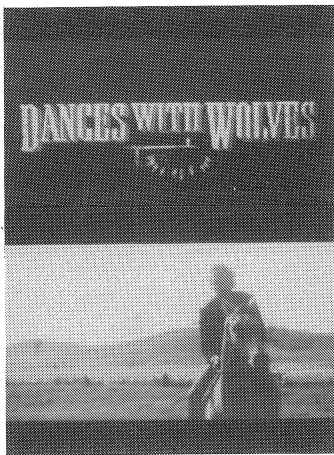
資 料 名	音 声	資料番号
Dance with wolves (ダンス・ウィズ・ウルブス)	(英 語)	E-0526
In bed with Madonna (イン・ベッド・ウィズ・マドンナ)	〃	E-0527
Imajin (イマジン)	〃	E-0528
The Doors (ドアーズ)	〃	E-0529
Terminator 2 (ターミネーター 2)	〃	E-0530
Somewhere in time (ある日どこかで)	〃	E-0531
Stella (ステラ)	〃	E-0532
The war of the Rose (ローズ家の戦争)	〃	E-0533
Look who's talking (ベイビー・トーク)	〃	E-0534
Tequila sunrise (テキーラ・サンライズ)	〃	E-0535
Harlem nights (ハーレム・ナイト)	〃	E-0536
Family business (ファミリー・ビジネス)	〃	E-0537
Bound for glory (わが心のふるさと)	〃	E-0538
The way she woe Janis a film	〃	E-0539
Harry and the Hendersons (ハリーとヘンダースン一家)	〃	E-0540
A handful of dust (ハンドフル・オブ・ダスト)	〃	E-0541
The Rose (ローズ)	〃	E-0542
Honey, I shrunk the Kids (ミクロキッズ)	〃	E-0543
The naked gun (裸の銃を持つ男)	〃	E-0544
Presumed innocent (推定無罪)	〃	E-0545
Always (オールウェイズ)	〃	E-0546
Pretty woman (プリティ・ウーマン)	〃	E-0547
The purple rose of Cairo (カイロの紫のバラ)	〃	E-0550
Home alone (ホーム・アローン)	〃	E-0551
Hudson Hawk (ハドソン・ホーク)	〃	E-0552
The silence of the lambs (羊たちの沈黙)	〃	E-0554
Dillinger (デリンジャー)	〃	E-0555
The lair of the white worm (白蛇伝説)	〃	E-0556
On moonlit night (ムーンリットナイト)	〃	E-0557
Nain 1/2 weeks (ナインハーフ)	〃	E-0559
Teenage mutant hero turtles (ミュータントタートルズ)	〃	E-0581
Guilty by suspicion (真実の瞬間)	〃	E-0582
Rocketeer (ロケットティア)	〃	E-0583
Telma & Louise (テルマ&ルイーズ)	〃	E-0584

資 料 名

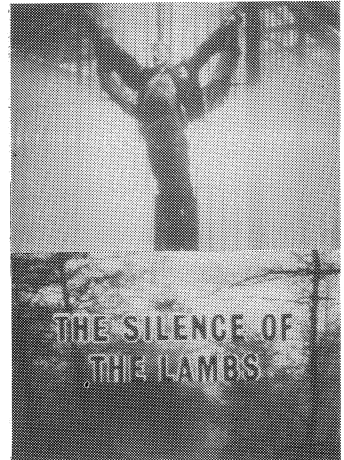
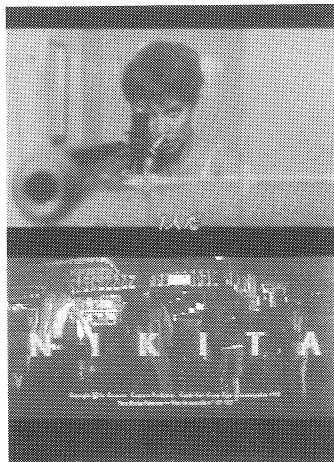
音 声

資料番号

Curly Sue (カーリー・スー)	(英 語)	E-0585
The Abyss (アビス)	〃	E-0586
Do the right thing (ドゥ・ザ・ライト・シング)	〃	E-0590
Arice (アリス)	〃	E-0591
The hunt for Red October (レッド・オクトーバーを追え)	〃	E-0592
JFK	〃	E-0593
Cyrano de Bergerac (シラノ・ド・ベルジュラック)	(フランス語)	F-0183
Therse (テレーズ)	〃	F-0193
Nikita (ニキータ)	〃	F-0194
Camille Claudel (カミーユ・クロードル)	〃	F-0195
非情城市	(中国語)	C-0187
友は風の彼方に	〃	C-0192
シコふんじゃった	(日本語)	J-0189
うみ・そら・さんごのいいつたえ	〃	J-0191



<レーザー・ディスクより画面コピー>



# 1992年度 LL 時間割表

	教室	I	II	III	IV	V	1	2
		09:10~10:40	10:50~12:20	13:10~14:40	14:50~16:20	16:30~18:00	13:10~19:40	19:50~21:20
月	4-I		Ph 1 大上	E 2 b スターク	C 3・4 上神		フランス語 LL 小沢	中国語初級 上神
	4-II		Fla 田村	Flb 田村	E 1 c スターク	F 2 a 小沢	英語 I 正木	
	5-I		F 2 b 大木					ドイツ語 LL 乙政
	5-II	R 1 b	B 2 原田	K 1 金	R 1 A 林田			
	VR(3)	U 3・4 松村	K 2 金	Ph 1 津田	K 1 金	Ph 2 津田		
	VR(D)		天文学 前田	K 塚本	H 2 溝上			
	AV	心理学 高橋	E 2 c ショー・ロバーツ	BP 1 A 林田	BP 1 b 林田	美学 岡林		
火	4-I	中級講読 F 語 竹田	P ラジャブザーデ	S 1 b 長谷川	E 1 a スターク	英語中級 斉藤隆		
	4-II	U 1 タップスマ	H 1 b バクシー	M 2 荒井	K 2 奥田	K 金		
	5-I	B 1 南田	B 2 南田	E 1 c 舟阪	E 1 b 舟阪	D 1 高田珠		
	5-II	Ph 3 ヨランダ	Ph 1 エミリア	F 2 a ロシュニユ	F 2 b ロシュニユ	It 3・4 郡		
	VR(3)	C 2 a 古川	K 2 金	It 初級文法 郡	It 1 郡	DM 3・4 バルダンミューラー		
	VR(D)			地誌 I 高山	地誌 IV 神崎			
	AV		教育心理学 宇坂	教育心理学 宇坂	英語中級 中野			
水	4-I	C 3・4 深尾	It 2 郡	C 3・4 上神	C 2 上神	P ラジャブザーデ	英語中級会話 ネルソン	ドイツ語中級 高田
	4-II	V 1 富田	V 1 富田	S 1 a 千葉	D 2 b 友田	DM 2 バルダンミューラー	イスパニア語会話 千葉	英語 I 上野
	5-I		DM 1 バルダンミューラー	Sw 2 ビヒマン	R ジャメ			
	5-II	F 1 b ロシュニユ	F 4 ロシュニユ		S 3・4 アルバレス	It 郡		
	VR(3)				B 3・4 鈴木		中国語講読 深尾	中国語中級 青野
	VR(D)							
	AV					体育概論 B 小松		
木	4-I	PB 2 有水	V 2 富田		R 1 a 生田	It 1 サイコ		
	4-II	Ph 2 スーザン	H 1 a バクシー		In 2 アイブ	In 1 アイブ		
	5-I	E 1 a 舟阪	Ph 4 大上					
	5-II	E 2 a ネルソン	B 3・4 原田		DM 3・4 福居	R 1 b 生田		
	VR(3)	Ph 1 ヨランダ	C 2 c 古川		BP 3・4 ロドリゲス	BP 3・4 ロドリゲス		
	VR(D)							
	AV	地誌 II 神前	人文地理 A 神前					
金	4-I	PB 1 河野	R 1 A 神山	英語中級 赤石	英語中級 森岡	R 1 b 神山	英語中級会話 ドランス	英語上級会話 ドランス
	4-II	Ph 2 大上	E 前期 船山	V 3・4 富田		D 2 a 友田	英語 I 大橋克	
	5-I	Sw 1 ビヒマン	比較文化観論 森栗		英語中級 赤石			フランス語中級 大木
	5-II	F 3 a ロシュニユ	F 1 a ロシュニユ	F 3・4 ユオ	F 3・4 b ユオ			
	VR(3)	Ph 4 ヨランダ	K 1 金		It 3・4 ローディ	It 3・4 ローディ		
	VR(D)		関連上級 赤石				R 神山	
	AV					地球環境論		
	デンジョン		E 後期 船山					

## AV Journal - 第23号 -

1992年12月15日発行

編集 大阪外国語大学視聴覚教育委員会

附属図書館視聴覚資料係

発行 大阪外国語大学

印刷 (株) ムラタ印刷